

乳房悪性腫瘍例であった。唯一の男性例は17歳の片側性女性化乳房症の症例で同側に軽度集積をみた。乳房に Ga が集積する原因として、血中のホルモン level, 特にエストロゲンとプロラクチンとの関与が報告されている。しかし、われわれの症例でこのホルモン level の変化で説明しうるのはわずか15例中6例にすぎず、Ga の乳房集積には今まで報告されていない他の因子も関与していると考えられる。

22. 骨スキャンによる骨外性集積例について

東 光太郎	山岸 利明
宝田 陽	利波 久雄
小林 眞	宮谷 博久
浜田 重雄	西木 雅裕
山本 達	興村 哲郎
宮村 利雄	

(金医大)

二谷 立介

(福井県立・放)

^{99m}Tc -リン酸化合物の骨外性病変部への集積例が、今日まで多数報告されている。今回われわれは、 ^{99m}Tc -MDP による Bone Scan で、骨外性腫瘍部への集積例を3例経験したので報告する。

3例は、未分化細胞癌の肺原発巣への RI 集積例1例、肺腺癌肝転移の肝転移巣への RI 集積例1例、肝細胞性肝癌の肝原発巣への RI 集積例1例である。

3例とも単純 X-P にて、石灰化陰影を認めなかった。

3例のうち、未分化細胞癌の肺原発巣への ^{99m}Tc -MDP の集積例、および肺腺癌の肝転移巣への ^{99m}Tc -MDP の集積例は、われわれの知るかぎり初めての報告と思われる。

23. ^{99m}Tc -MDP におけるリンパ系シンチグラフィ (その2)

小林 英敏	佐々木常雄
仙田 宏平	三島 厚
松原 一仁	石口 恒男
改井 修	真下 伸一
大鹿 智	児玉 行弘
大野 晶子	

(名大・放)

^{99m}Tc -MDP により、リンパ管が描出されることは前回報告した。今回は、基礎的検討に、(1)右手背に皮下注射し、リンパ管が描出されている時の左右静脈血中 RI 量を測定し、差が無いことを確認し、(2)両足背に皮下注射し、その局所の RI カウントの減少する状態は、広範子宮全摘術後症例と、それ以外とは差を認め、その原因は早期に運ばれる RI 量が、広範子宮全摘術後症例で低下しているためと考えられた。応用として、広範子宮全摘術後症例で、下肢に軽度の浮腫を認めた2症例に、両足背に ^{99m}Tc -MDP おのおの 2 mCi 皮下注射した。両症例ともに、浮腫を認めた下肢は、RI の上昇は途中でブロックされ、RI はリンパ管外に漏出しているのが認められた。

24. Anti HA, Anti HBc キットの基礎的検討

金森 勇雄	木村 得次
市川 秀男	鶴田 初男
(大垣市民・特放)	
中野 哲	北村 公男
(同・第2内)	
綿引 元	武田 功
佐々木常雄	

(名大・放)

われわれは過去約10か月間、RIA 法により、Anti HA と Anti HBc を測定してきた。今回はその kit の基礎的検討について報告した。

結論(I) Intra-assay variance: Anti HA の CV はおのおの 0.8, 4.4%, Anti HBc は 1.3, 43.8% で